

新型インフルエンザ対応について

平成21年6月24日

保護者・学生 各位

教務課

標記の件につきまして、既にニュース等でご存知のことと思いますが、兵庫・大阪を皮切りに始まりました新型インフルエンザの感染者は、全国各地に広がっています。

また、6月11日には南半球における感染拡大を受け、世界保健機関（WHO）がパンデミック警報を、フェーズ5からフェーズ6へ変更いたしました。

6月17日の段階で、感染者は27都道府県で663名。感染者のピークは5月17日でしたが、今月に入り増加傾向にあるとニュースで報じられています。

名古屋市におきましても、6月12日に「渡航歴の無い方」の感染が確認され、「名古屋市暮らしの情報」ページによれば、6月23日午後2時現在、累計12名となっています。

このような状況から判断しますと、本校におきましても何時感染者が出てもおおしくないとこるに来ているのではないかと考えられます。

以上の点から、学生諸子の感染予防を目的に、次の対応に心掛けて頂きたいと考えますのでよろしく願いいたします。

1. 新型インフルエンザの予防について

新型インフルエンザの予防法は今のところ確立されておりません。体内への侵入を防ぐことが一番の予防法と考えられます。そのためにも以下のことを心掛けて下さい。

外出後はうがいや手洗いをすること。

必要以上に人混みや繁華街へ出かけないこと。

* 止むを得ず出かける必要がある時は、ウイルスの侵入を防ぐ高性能のマスクを着用すること

十分な休養をとり、体力や抵抗力を高めること。

日頃からバランスの良い栄養を摂り、体の調子を整えること。

部屋の乾燥に気をつけ、適度な湿度（50～60%）を保つこと。

2. 新型インフルエンザ感染の判断について

新型インフルエンザ（H1N1）の主な症状は以下の通りです。Aソ連型と同じ型であるA型インフルエンザの一種なので、症状も冬に流行るインフルエンザと同じです。感染の疑いがあるときの判断目安にして下さい。

発熱（38 以上）

喉の痛み

咳、鼻水（鼻汁）または鼻づまり

頭痛

全身の倦怠感

関節の痛み

筋肉痛

3. 感染したと思われる場合について

上記2の症状に心当たりがある場合、感染の可能性がありますので、他人にうつす恐れを避けるためにも、無理な登校は止め、次のようにして下さい。

先ず「かかりつけの医者」に相談して下さい。

もしそのような医者がいない場合は、裏面にあります「発熱相談センター」に問い合わせして下さい。

また、結果については速やかに学校への連絡をお願いいたします。

名古屋市にお住まいの方：新型インフルエンザ発熱相談センター

開設時間：午前9時から午後7時

設置場所：健康福祉局健康増進課 電話番号:052-972-2631

各保健所保健予防課健康づくり担当

千種保健所	052-753-1982	東保健所	052-934-1218
北保健所	052-917-6552	西保健所	052-523-4618
中村保健所	052-481-2295	中保健所	052-251-4568
昭和保健所	052-735-3964	瑞穂保健所	052-837-3264
熱田保健所	052-683-9683	中川保健所	052-363-4463
港保健所	052-651-6537	南保健所	052-614-2814
守山保健所	052-796-4623	緑保健所	052-891-3623
名東保健所	052-778-3114	天白保健所	052-807-3912

午後7時以降の相談窓口:052-251-4522

その他の地区にお住まいの方：所轄の発熱相談センター

***事前に調べておいて下さい**

4. その他のお願いについて

風邪などで咳やくしゃみが出る時、他人に感染させないためにも以下のエチケットを守りましょう

咳エチケット

咳やくしゃみが出る時はティッシュなどで口と鼻を被い、他の人から顔を背け1～2メートル以上離れましょう。

咳やくしゃみといった症状があるときはマスクを着用しましょう。

ティッシュなどが無い場合は、口を前腕部（袖口）で押さえて、極力飛沫が拡散しないようにしましょう。

呼吸器系分泌物（鼻汁、痰など）を含んだティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。

咳やくしゃみをする際に押さえた手や腕は、その後直ちに洗いましょう。

咳をしている人にマスクの着用を積極的に促しましょう。

5. 感染者が出た場合の処置について

本校におきまして感染者が出た場合、愛知県の指導に基づき急遽「休校」とすることがありますのでご承知おき下さい。

以上